

## 情報公開文書

本研究は「匿名加工情報※」を利用する研究であり、個人の特定が極めて困難な情報を用いて実施する研究です。

※匿名加工情報…特定の個人を識別できないように個人情報を加工し、元の個人情報へ復元できないようにした情報

### ◆ 眼腫瘍および眼瞼皮膚腫瘍の側性の違いによる疫学的・臨床的評価

#### 1. 研究の対象・研究目的・研究の方法

本研究は、国が指定するがん診療連携拠点病院等を中心に、全国約 850 病院でがんの診療を行ったすべての患者さんのデータを、全国共通のルールに従って登録した院内がん登録情報を利用した臨床疫学研究です。研究対象者は、この院内がん登録情報のうち、眼腫瘍および眼瞼腫瘍と診断された方で、匿名化した情報を使用します。眼腫瘍および眼瞼腫瘍と診断された方は、まず側性により 2 群に分けます。その後、記述疫学的アプローチを通じて発生率や有病率、また年齢、性別、腫瘍の種類、ステージ、原発部位、側性など各種指標の動向を明らかにします。さらに、年齢、性別、腫瘍の種類などにて調整し、眼腫瘍の側性により、生命予後が変わるか検討します。

#### 2. 研究期間

研究期間は 2025年9月5日～2030年 3 月 31 日までを予定しています。

#### 3. 研究が行われる機関および研究者名

千葉県がんセンター研究所 道端伸明

#### 4. 研究責任者

千葉県がんセンター研究所 道端伸明

#### 5. 個人情報の取り扱い

本研究は匿名化されたデータを用いるため、個人の特定は基本的に不可能です。しかし、極めて稀な希少疾患などにより個人が特定される恐れがある場合には、少数データをマスクし、個人が特定できない集計データとして公表します。また、データの漏えい防止およびその他の情報の適切な管理のため、必要な措置を講じ厳重に管理します。

#### 6. 研究対象者に生じる負担、予測されるリスクおよび利益

本研究は匿名データを用いるため、研究対象者に負担やリスクが生じることはありません。

7. 資料・情報の保管方法

研究責任者の管理下において、施錠可能な保管庫で厳重に保管します。

8. 研究の資金源および利益相反について

本研究に必要な経費はAMED及び文部科学省などからの研究費が利用されます。当センター研究者の利益相反は、当センター利益相反委員会が適切に管理しています。

9. この研究の倫理審査委員会の承認について

本研究は匿名加工情報を利用した研究のために倫理審査は免除されています。本研究は、千葉県がんセンター病院長の実施許可を受けて行われます。

10. この研究に関するお問い合わせについて

本研究に関するご質問がある場合は下記へお問い合わせください。ご希望があれば、支障がない範囲内で研究計画書および研究の計画に関する資料を閲覧することができます。

研究責任者 千葉県がんセンター研究所がん予防センター 道端伸明  
〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2  
TEL 043-264-5431 (代表番号)

Ver. 20250807 (2025年8月7日作成)